

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育総務費

事業名 特支スクール・サポート・スタッフ配置事業費（コロナ分）
特支スクール・サポート・スタッフ配置事業費旅費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

教育委員会教職員課 高等学校・特別支援学校係 電話番号：058-272-1111（内 3529）

E-mail： c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,460 千円（前年度予算額：17,528 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	諸収入	県 債	一 般 財 源
前年度	17,528	4,655	0	0	0	0	0	0	12,873
要求額	17,460	4,433	0	0	0	0	0	0	13,027
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

各特別支援学校においては、「学校における新型コロナウイルス感染症対応<学校再開ガイドライン>」に基づき、登下校時の健康チェックや、校内やスクールバスの消毒、さらに障がい特性を踏まえた衛生管理等の対策がなされている。また、「特別支援学校等における新型コロナウイルス感染症対策に関する考え方と取組（令和2年度6月19日版）」（2文科初第451号）では、認知の特性により指導の徹底が難しい児童生徒等や感覚に過敏がありマスクを常時着用できない児童生徒等に対する取り組みも示されている。

これまでスクール・サポート・スタッフ等の配置により、教職員の業務量の適正化と児童生徒等の健康管理に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症への対策を講じてきた。しかし、児童生徒の健康観察のとりまとめや、教室内の換気や消毒作業等を教師が担わざるを得ない状況がある。そのため、教職員が児童生徒の学びの保障に注力できるよう、消毒作業等の業務を担当し、教職員をサポートする人材の配置が必要である。

(2) 事業内容

児童生徒の健康観察のとりまとめ作業や教室内の換気や、消毒などの感染症対策等を行う人的体制を整備し、感染症対策を図る。

義務部（小・中学部）のある県立特別支援学校 19 校（日赤分校は除き、郡上特別支援学校は大和校舎、那比校舎を各 1 校とする）に配置する。

配置は 1 校につき、2 時間／日×5 日／週×35 週×2 人とする。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国庫負担 1/3（ただし、時間単価 1,000 円）
- ・スクール・サポート・スタッフ（コロナ影響分）の配置

(4) 類似事業の有無

「教師業務支援員設置費（コロナ分）」

県立特別支援学校 21 校に新型コロナウイルス感染症対策を図るため、教室やトイレ等の生徒が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ等）の消毒、生徒の登校時における健康状態チェックの業務等を行うため、教員業務支援員を県立学校に配置する。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	15,465	報酬 15,412 千円、職員手当 0 千円、共済費 53 千円
旅費	1,995	1,995 千円
合計	17,460	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「学校における新型コロナウイルス感染症対応＜学校再開ガイドライン＞」
- ・「特別支援学校等における新型コロナウイルス感染症対策に関する考え方と取組（令和 2 年度 6 月 19 日版）」（2 文科初第 451 号）
- ・補習等のための指導員等派遣事業「教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置」（39 億円→103 億円）

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・教職員が児童生徒の学びの保障に注力できるよう、消毒作業等の業務を担当し、教職員をサポートする人材を配置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

・新型コロナウイルス感染症への対応が変化しているため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の恐れがあり、教室内の換気や消毒作業等、感染防止対策を行う必要がある。
2	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染状況に応じて業務内容を見直すなど、柔軟な対応が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、業務内容について検討する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】